



札幌市の避難所の数について

10718 小堀ちゆき 10826 寺岡悠太
10831 平口山莉子 10835 宮崎琉

概要
札幌の避難所の数は人口に応じた数あるのか
災害の頻度などを考慮した数になっているのか
これらに課題はあるのか

区名	避難所の数(個)	区の面積(平方km)	1平方kmあたりの避難所の数(個)	区全体に対する割合(百分率)
中央区	94	46.42	2.0	13%
北区	92	63.57	1.5	12%
東区	102	56.97	1.8	14%
白石区	73	34.47	2.1	10%
厚別区	47	24.38	1.9	6%
豊平区	84	46.23	1.8	11%
清田区	44	59.87	0.7	6%
南区	79	657.48	0.1	10%
西区	62	75.10	0.8	9%
手稲区	45	56.77	0.8	6%

表1より
避難所の数、人口の分布がほとんど同じになっている
→人口分布をもとに避難所を設置しているのではないのか
南区は若干避難所の数が多い
→南区は広いから多く設置する必要があるのではないのか
子供や高齢者の分布に区ごとの偏りが無い
→子供や高齢者の数によって避難所の数は左右されない

↑表1:札幌の避難所について

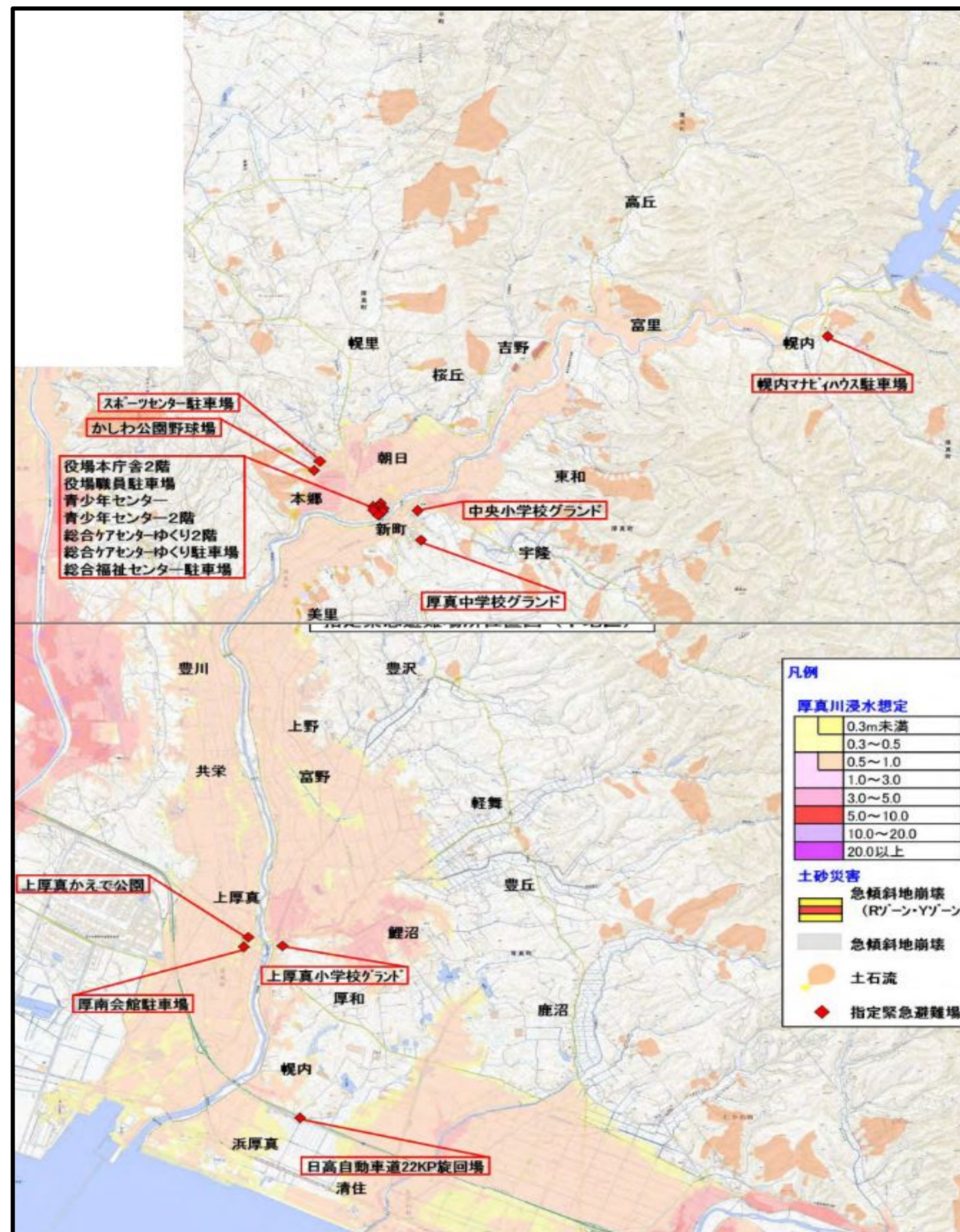
調べたこと②

〈避難所の設置について〉
・避難所の設置に人口や面積は関係ない
・人口と面積には若干の正の相関関係が見られる程度

表2・図1より
被害を受けたからといって避難所の数が多いとは言えない

	避難所の数(個)	区の面積(平方km)	1平方キロメートルあたりの避難所の数(個)
厚真町	16	404.61	0.04

↑表2:厚真町の避難所について



調べたこと③

〈避難所の偏り〉(区内)
・南区 国道沿いに作られている(山には避難所がない)
・南区に接している清田・豊平・中央・西・手稲は南区側に避難所が少ない
・北東のほうに避難所が少ない

調べたこと④

札幌市と名古屋市・福岡市の1平方キロメートルあたりの避難所数を比較
→札幌市は避難所が少ない

←図1:厚真町の避難所について

考察

基本的に札幌の大部分は災害がほとんど起きない地形である
→他の都市よりも避難所の密度が低くても問題はないと思われる
南区の山中で土砂災害は起こるが、国道の近くであり、南区には国道の近くに避難所があるため大丈夫
北東の方で洪水が発生する可能性がある場所なのに避難所が少ないので避難所は増やすべきである